

上新地区歴史探訪エリア

上菅田町・新井町



- 1 能登^のとつながる松野稲荷
- 2 上菅田の石仏・石塔／どんど焼き
- 3 福生寺^{ふくしょうじ}と大銀杏^{おおいちよう}
- 4 上菅田の八幡^{はちまん}神社
- 5 豊作祈願の十三塚
- 6 馬頭^{ばとう}観音^{かんのん}地蔵^{じぞう}
- 7 子育て地蔵
- 8 新井町の歴史と六地蔵大菩薩
- 9 近隣住民の憩^{いこ}いの場、新井町公園
- 10 猪子山^{いのこやま}の真二つにされた大蛇伝説
- 11 上菅田町の飛地（古新田）
- 12 富士山ビューポイント

上新地区歴史探訪エリアマップ

①松野稲荷

→1 能登とつながる松野稲荷

②中下地区行事場所

→2 上菅田の石仏・石塔/どんど焼き

③上地区行事場所

→2 上菅田の石仏・石塔/どんど焼き

④福生寺

→3 福生寺と大銀杏

⑤八幡神社

→4 上菅田の八幡神社

⑥十三塚

→5 豊作祈願の十三塚

⑦馬捨て場跡

→6 馬頭観音地蔵

⑧子育て地蔵

→7 子育て地蔵

⑨六地蔵菩薩

→8 新井町の歴史と六地蔵大菩薩

⑩新井町公園

→9 近隣住民の憩いの場、新井町公園

⑪猪子山

→10 猪子山の真二つにされた大蛇伝説

⑫富士山ビューポイント

→12 富士山ビューポイント



の と 能登とつながる松野稲荷

エリアマップ①

石川県能登町にある願成寺がんじょうじとつながりのある松野稲荷。

松野稲荷の氏子の先祖に宮大工がいて、安政の大地震で大きな被害を受けた江戸城の修復に呼ばれました。その時に、願成寺の26代かいおう戒應住職と知り合いになりました。その住職が、交通の便も発達していない時代に、上菅田の地域の方のために松野稲荷せんくうしで遷宮師を務めてくれました。今から157年前(1858年)のことです。

その後、1996年に新しい社を建てる際、当時の社の奉納こま護摩ふだ札を見つけた氏子代表がこの事実を知り、願成寺を探しあて、話のいきさつを知らせたことをきっかけに、願成寺との交流が再び始まりました。



語りべ：松野 忍さん／イラスト：山野邊 和子さん



2 上菅田の石仏・石塔／どんど焼き

エリアマップ②③

石仏・石塔

上菅田町の旭橋際には、二十六夜塔、歳の神、こうしん庚申塔、庚申ばとうかん ぜおん供養塔、馬頭観世音、地蔵庚申塔などがあります。



どんど焼き

上菅田地区では毎年1月14日に、しめなわ門松、注連縄、松飾り等を焼きます。そこで各自が持ち寄った団子を焼き、それを食べて無病息災を祈念します。また子どもは書き初めを燃やして、その灰が高く舞い上がると字が上手になると言われています。

この地域は、いなり こう稲荷講、じしん こう地神講、お祭りなどの行事も行われています。



お祭りは9月の第2日曜日。八幡神社より神輿がでる。

語りべ：山野邊 和子さん

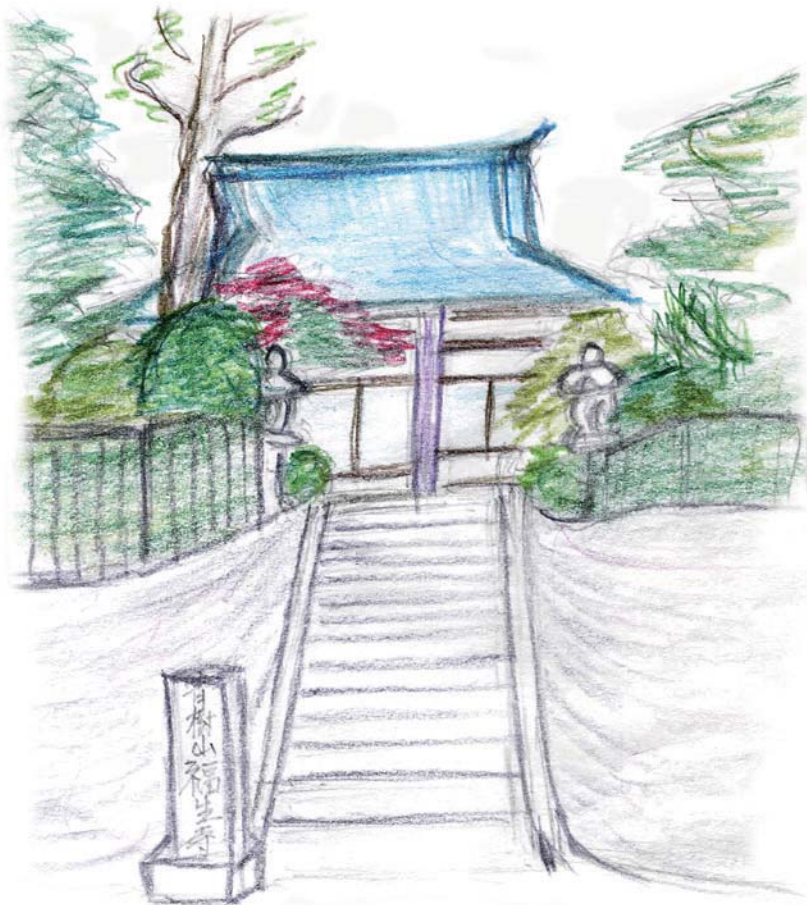
3

ふくしょうじ おおいちょう 福生寺と大銀杏

エリアマップ④

元は上菅田の中央にあり、江戸時代に現在の場所に移りました。ご本尊は薬師如来です。

入り口右側に「しあわせ地蔵」が安置されています。その他、ばんしょう晩鐘供養塔（やくしにょらい地蔵菩薩）、ごうしん庚申供養塔、左側に徳本念仏塔があります。また、樹齢220年を超える横浜市指定の大銀杏の名木があります。



4

上菅田の八幡神社

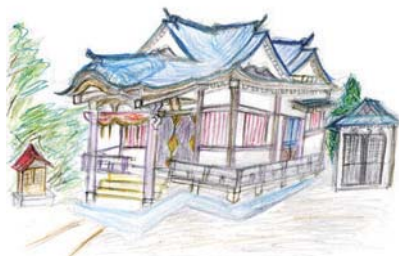
エリアマップ⑤

八幡神社は上菅田町の鎮守様。祭神はちんじゆ応神天皇おうじんです。

創建年代は不詳ですが、文化13年（1816年）再建と伝えられています。しかし、昭和55年（1980年）に焼失してしまい、2年後に氏子の総意で社殿が築造されました。

社殿の両脇には八坂社（祭神はすさのおのみこと素戔男尊など）と天神社（祭神はすがわらのみちざね菅原道真）がほこら小さな祠を構えています。正月三が日には初詣で賑わいます。

この地域には、縄文上期頃の貝塚があったとも言われています。



5

豊作祈願の十三塚

エリアマップ⑥

十三塚は、上菅田町の上地区と中地区の境界線上に立てられた境界標識と言われています。豊作などを祈願して建てられました。

昭和初期に数本実在しましたが、畑地になり、現在は久保田稲荷の裏側の墓地の中に記念碑があります。



6

ば とう かん のん し ぞう
馬頭観音地蔵

エリアマップ⑦

昔、死んだ馬を葬った場所です。馬肉の好きな人達が、情報を得て遠くから取りに来たそうです。

現在は馬頭観音があり、常に花が供えられています。



ほどがや語りべ集

7

子育て地蔵

エリアマップ⑧

みろく ぼさつ しゃくそん
弥勒菩薩は釈尊に次いで仏として将来この世に現れることが約束されていることから、未来仏と呼ばれている菩薩です。弥勒菩薩が出現するまで、衆生しゅじょうを救える菩薩が地蔵菩薩とされています。子どもの味方のお地蔵様です。

ここには昭和初期まで大きな松の木（一本松）があり、村民の道しるべになっていました。



上新地区歴史探訪エリア

8

新井町の歴史と六地藏大菩薩

エリアマップ⑨

新井忠兵衛（新井楽山）が幕領地ぼくりょうちを1751年から十数年かけて開拓したのが新井新田しんでんけんちの始まりです。新田見地後、池上幸豊（武蔵国大師河原の名主）の依頼によりサトウキビ栽培を始めました。

1760年代後半、池上幸豊と田村元雄（医者、本草学者）ほんぞうが国内でサトウキビから砂糖の精製に成功しました。横浜が「砂糖のふるさと」と言われる原点は現在の新井町にあります。

明治7年（1874年）には、伊勢四日市の黒崎平七が新井家から土地を借り受けお茶の栽培をはじめました。明治9年（1876年）新井家は下菅田の鈴木政右衛門に新井新田を譲渡し、以後鈴木家の所有となりました。お茶の栽培は昭和初期まで行われました。

六地藏大菩薩ろくじぞうだいぼさつは、1777年12月、新井忠兵衛の三回忌に、生涯を捧げたサトウキビ栽培の畑をいつまでも見ていられるようにと遺族が建てたものです。



9

近隣住民の憩いの場、新井町公園

エリアマップ⑩



新井町公園は、都会にすることを一瞬忘れてしまうくらい自然豊かな場所です。1995年に公園が開園され、現在でも緑を近くに感じられる周辺住民の憩いの場になっています。



公園の自然は、多様性に富んでいます。植林だけでなく、中央に池があるのも特徴の1つです。

「とんぼ池」と称されているこの池では、夏になると夜には蛍が見えるそうです。蛍が見られるくらい水が綺麗で自然豊かな場所は、都市にそうないでしょう。樹木も梅の木など季節を感じさせてくれるものも植えられています。



9

近隣住民の憩いの場、新井町公園



他にも竹林があり、春には地元住民で筍を掘る活動が行われるようです。公園内には、新井町と縁のあるお茶が、近隣小学校の生徒によって植えられています。

このような広く、植栽の管理が必要となる公園を維持するのは容易なことではありません。しかし、開園以来その魅力を保ち続けている背景には、陰ながら努力する市民の存在があります。

公園では住民が地域活動を積極的に行っており、今後も住民にとって貴重な場であり続けるでしょう。



猪子山は、新井町の南部から旭区の川島町（興和台団地）と西谷町にかけての一带にある、深い樹林に覆われた険しい山です。

名前の由来は、山に棲んでいた「イノシシ」が、子どもが生まれると崖の下に突き落とし、這い上がってくる子どもだけを育てたからだと言われています。

これは江戸時代の中ごろ明和元年（1764年）、今から約250年前のお話です。

江戸時代の中頃、川島村に住む木こり夫婦がいつものように、猪子山の麓で山仕事をしていました。お昼になり、かみさんが清水の湧くところに水を汲みに行ったまま帰ってきません。山の中を探してみると、見たこともない大蛇がいて、口の中にかみさんの帯の切れ端が……、蛇に飲み込まれたことを知りました。

木こりは、悲しみと無念さをかみしめ川島村に帰り、村の人達と相談した結果、鉄砲の名人の「治平」さんに、仇打ちを頼むことにしました。

「治平」さんは、猪子山の中に入って何日目かのこと、胸回り2尺（約60cm）、長さ2間半（約4.5m）もありそうな大蛇を見つけました。





名人の「治平」さんは、火縄銃で一発発射しましたがびくともしません。何発も発射してやっと大蛇の息の根を止めます。



大蛇はあまりにも大きいため、ノコギリで真二つに切り離し、尾っぽの方は、猪子山の麓の「さかいの谷戸（新井町）」に運び埋め、目印に一本の松を植え弁天塚と名付けました。

現在、新井町の鈴木家の屋敷内にある弁天塚には、二代目の松の木が植えられています。

一方、切断された頭の方は、川島村に運び埋めて祀りました。現在は「かわしまホーム」の敷地内の立派な祠ほこらに祀られています。



かわしまホームの祠



鈴木家の弁天塚

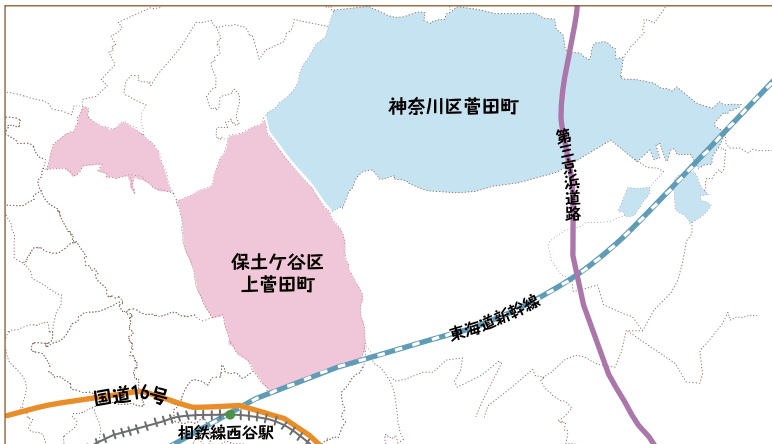
上菅田町の飛地（古新田）

1478年まで、菅田（現上菅田町）と小机の間は名もなき原野でした。

幕府はこの原野の開拓を菅田村の人達に命じ、そこを「下菅田」と名付けました（現神奈川区菅田町）。その時本村^{ほんそん}に上をつけ上菅田としました。この開拓の労により幕領地の一部を拝領し、開拓したのが「上菅田新田」です。

古新田と呼ばれるようになったのは、8代将軍徳川吉宗が1716年以降新田開発を奨励し、1704年以前に開拓した新田を区別して古新田としたためです。

下菅田の開拓を裏付ける話として、昭和30年頃、下菅田のお年寄りより、「我々が幸せに暮らせるのは上菅田の人達のお陰だから、上菅田の方に足を向けて寝てはいけないと、子供の頃、親に言われた」と聞きました。



語りべ：小島 秀夫さん



保土ケ谷区内にはいくつか富士山が見える場所があるのでご紹介します。冬の間（11月から2月）がよく見えます。



1. 新井町 10



2. 西谷町 9 3 7 (富士山神社)



区内その他のポイント

3. 権太坂一丁目 3 6

4. 瀬戸ケ谷町 2 2 3

5. 岩井町 4 5 0

(保土ケ谷橋交差点の真上)

6. 岩井町 2 5 0

(清水ヶ丘公園付近の区界)



3からの眺望



4からの眺望



5からの眺望



6からの眺望

語りべ：横溝 高一さん